

 いわみざわ公園バロ園 [www.iwamizawa-park.com](http://www.iwamizawa-park.com)

### 色彩館の相談員

色彩館の「緑の相談コーナー」には5人の相談員がそれぞれの分野（家庭菜園・草花・樹木）で相談を受けていますが、相談員ひとり一人がすべての分野に特化している訳でなく医師に例えると内科医、外科医などのように専門分野を軸に相談に応じています。ただし、土作りや肥料、病害虫、殺虫殺菌など共通する問いは5人ともお答えいたしますが、剪定や育成に関する専門的な問いがあったときは、即答を避けて、後日担当相談員からお答えすることといたしています。ご不自由をおかけいたしますがご容赦願います。2022年も私たち5人体制でご相談を承りますが、5人のシフトは、火曜日は高橋（バラ等花に関すること）、水曜日は伊東（バラ等花に関すること）、木曜日は木下（野草や花に関すること）、土曜日は川原（庭造り、果樹木など木に関すること）、日曜日は永安（家庭菜園に関すること）で、月曜・金曜日はお休みです。相談時間は、9時から12時までと13時から16時までですが、最終受付は15時45分とさせていただきます。（ながやす）



### 今月の便り

#### フッキソウ

フッキソウは、日本、中国に分布する高さ20～30センチのツゲ科の小低木で、常緑でよく茂り、葉が輪状に付いて繁栄をイメージさせることから縁起が良いとされ、「富貴草」の名前が付けました。また、稀にみえる果実が、真珠のように美しいことも名前の由来になっています。4月～5月頃、茎の頂部に長さ10cm程度の穂状の花序を出し、上部が雄花、下部が雌花で花弁はなくオシベ、メシベにガクだけのあまり目立たない花です。耐寒性、耐暑性に優れており、育てやすい植物ですが乾燥しすぎるような場所や、一日中陽が当たるような場所では上手く育ちません。適した場所に植えると手間がかからず一年中美しい姿を保ちます。地面を覆うようにマット状に広がるのでグランドカバーとしてよく利用されます。園芸品種には葉の縁に白い覆輪が入る、斑入り品種もあります。（いとう）

### 新年は植物の名前調べから

皆さんは昨年植物を育てて気になったことはありませんか？雪に閉ざされ室内で過ごす時間の多いこの時期は、育てる過程で感じた疑問を調べるのに最適です。まずは植物図鑑などの写真を眺めながらわからなかった植物の名前を調べてみてください。自宅で育てていても名前がわからない植物もあるはずで、名前がわかると育て方も調べられます。相談コーナー、図書館の本、そして便利なインターネット検索。植物の特徴を知ることによって育て方のコツも見えてきます。それから是非植物だけでなく昨年多かった虫についても調べて見ましょう。増えた害虫の好む環境に庭が傾いているのかもしれませんが、たかがガーデニング、たかが家庭菜園ではありませんが、小さな世界から何か環境問題が見えて来るかもしれません。さて2022はどんな年になるのでしょうか。どうぞ今年も皆様も植物も健康でありますように。（きのした）

## シコロの里

キハダはミカン科の落葉高木で雌雄異種。昨年は強烈な霜がなく黄葉の冴える年でした。高さは 25m に達し、北海道を含む東アジアに広く分布しています。成木の幹には縦溝があり、その下にはコルク層が広がっています。さらにその下には黄色い内皮があり、これが名の由来（黄肌）になっており医薬品の原料になっています。苗木を生産していたころは、崖下から生えている木を見つけ、手元に伸びている枝先から採種していました。鳥たちは労せずして実をついばむので羨ましく思ったこともあります。さて道内の木材関係者はキハダをシコロとも呼んでいます。これは黄色、キハダの実を表すアイヌ語のシケリペ、シケレペに由来しているようで、炭坑全盛の時代、万字線の美流渡より南東方向に枝分かれした上美流渡地区をシコロと呼んでいました。キハダがたくさん生えていたのですね。現在では道内外から志を持った芸術家が定住し、活動しています。この木が活躍する日がくるかもしれませんね。（かわはら）

## 新年明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えて室内ではお正月飾りなど生花や鉢花が綺麗に咲いていると思います。冬の定番と言えばシクラメンや、ラン類、観葉植物など大型店舗では沢山の新品種が並び、花好きの皆さんはお部屋の彩りとして、お迎えされていることでしょう。冬中咲かせて維持するための室内管理では水やりのコツをつかむ事が大切です。底面給水が良いとされているシクラメンなど、冬も咲き続ける花には液体肥料の希釈分量を守り週 1 でお天気の良い午前中に施すのが効果的です。春まで葉組みをしたり、高温多湿が嫌いなシクラメンは、10～20 度ぐらいが植物の適温。暖房の効いた北国での室内管理は難しいので、日が当たりながら無加温の玄関などが置き場所としては向いていると思います。温度計で気温確認しながら美しく彩る姿を楽しみましょう。（たかはし）

### 植物に必要な栄養素

空気や水からとる栄養素

根から吸収する養分

2次要素

微量元素

酸素・水素・炭素

3要素と言われる チッソ・リン酸・カリ

カルシウム・マグネシウム・イオウ

マンガン・モリブデン・ホウ素・亜鉛・塩素・銅・鉄・ニッケル

植物成長に必要なとしている栄養素は以上 17 養分が必要とされています。空気から 3 要素、それ以外の 14 要素は根が土の中から吸収しています。14 要素の中でも、特に大量に必要なものが、チッソ (N)・リン酸 (P)・カリ (K) です。自然界では、動物のフンや死骸などの有機物が、土中の微生物を繁殖させ、さらに微生物によって無機物に変えられ、植物の根から吸収されていきます。こうして植物が育っていくわけです。しかし、お庭やコンテナ中だとそうはいきません。自然と栄養分が入ってくるサイクルがないので、私たちが定期的に与える必要があります。これが肥料を与えなければならない理由です。たいていの肥料には N・P・K の成分量が表示されていますが目的に合わせて肥料を選ぶと良いでしょう。

**チッソ (N)** …葉・茎の生育に重要な成分で葉や茎の成長を促します。不足すると葉の色が薄くなり、過剰になると茎が徒長（軟弱になり急速に伸びる）する。

**リン酸 (P)** …花や実付きを良くし、根をしっかりと張

らすために必要な要素です。不足すると花数が少なく色も悪くなります。

**カリ (K)** …根の張りを良くするだけでなく、細胞を丈夫にして病害虫への抵抗力を高める作用もあります。不足すると根の張りが悪く生育不良で葉が黄ばんできます。



# ひとつき ひとバラ



文：曾根 浩太  
(いわみざわ公園バラ園)

## 番外編

### W. コルデス・ゼーネ社 (前編)

W. Kordes ' Söhne Rosenschulen GmbH & Co KG

創業：

1887年(エルムスホルン)  
(1919年からシュパリースホップ)

オーナー(五代目)：

Wilhelm-Alexander  
Tim-Hermann  
John Kordes



画像引用：<https://www.rosen.de/>

今回は番外編ということで当園ではお馴染みの W. コルデス・ゼーネ社(以下、コルデス)についてご紹介したいと思います。

コルデスは、1887年にヴィルヘルム・コルデスI世がエルムスホルン村に園芸農場を興したことに始まり、二代目のヴィルヘルム・コルデスII世とヘルマン・コルデスI世の兄弟時代にドイツ北部のシュパリースホップ村に本拠地を移し事業を発展させてきました。古くから兄弟で経営を行うのが特徴であり、二代目でいうと、ヴィルヘルム・コルデスII世が育種担当、ヘルマン・コルデスI世がマーケティング・生産担当をしていた、というように役割分担を行い効率的な経営を行っています。

ドイツの北部という寒冷地が本拠地なので、耐寒性に強いバラも多く、北海道のバラ栽培にも適したバラを多く作出しています。新品種を作出する際、耐寒性以外にも色、サイズ、花形、花保ち、耐病性、香り等も慎重に評価しており、新品種として発表するまでに7年以上試験を実施しています。特に耐病性に関しては、1990年に試験場での殺菌剤の使用をやめているほどこだわっており、近年作出のバラは本当に病気に強く、無農薬栽培の当園でも病気知らずの品種を多数輩出しています。昨今無農

薬での栽培がヨーロッパでの主流になってきており、耐病性品種を各育種会社も意識して発表してきています。コルデスはその先駆けの存在ですね。素晴らしい。

世界で最も厳しいとされている品種認証システムの ADR の受賞数が一番多い会社であることから、コルデスの見た目での花の良さや香りといったものと、耐病性を共存させる技術の高さがわかります。毎年約120万粒の種をとり新しい品種を作出しているという話には驚きです。

コルデス・ファミリーのスローガンは「ザ・モスト・ビューティフル・ローゼズ・オブ・ザ・ワールド」、世界でもっとも美しいバラという意味です。このスローガンの下、創業から130年以上も経過してなお、創業者のヴィルヘルム・コルデスI世から途切れずに現在の5代目の子孫にまで優れた育種プログラムが引き継がれています。他の育種会社にも素晴らしい品種はいっぱいありますが、人におすすめしやすいのはコルデスの品種ですね。様々な気候への対応力と耐病性の強さがあり、場所や人を選ばずにおすすめできます。

次回、コルデスの世代ごとの銘花についてご紹介したいと思います。

## 今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 1月16日(日) 10:00~12:00 折り紙でバラをつくろう 中級  
料金:無料 定員:15名 講師:バラ園スタッフ
- 1月23日(日) 13:00~15:30 飾ってたのしい植物画~観葉植物編~  
料金:1,000円 定員:10名  
講師:木下京子さん フラワーマスター
- 1月30日(日) 13:00~15:00 花をタネから育てよう  
料金:500円 定員:10名 講師:バラ園スタッフ

《予告》 ※お申込みは広報いわみざわ2月号が発行されてからお願い致します。

- 2月13日(土) 13:00~15:00 折り紙でバラをつくろう 上級  
料金:500円 定員:5名 講師:バラ園スタッフ

※例年2月下旬に開催しております

「洋ラン栽培の楽しみ方」(講師:えるむ花園 川面豊樹さん)は、  
「いわみざわ洋らん展」の開催期間変更により4月上旬を予定しております。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

- × マスクの着用がない方
- × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限や材料準備の関係から、連絡なしの欠席はお申込みをされた方への迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。